

講演会

## 「持続可能な社会の実現は、日々の生活から」

小田原は、国連が主導する持続可能な社会を実現するための世界共通の目標、SDGs を先導する「未来都市」として、県内では横浜、鎌倉とならんで選定されました。森、里、川、海の恵まれた自然資産と、環境をはじめとする多くの取組が評価されたわけです。世の中が、「持続可能性」をめぐり大きく変わろうとするいま、それでは私たちにはどんな役割が期待されるのか、また、暮らしの充実や豊かさをどこに求めていけばよいのか、どんなライフスタイルが大切になっていくのか。ながく生活者、消費者保護の視点から「暮らし」を見つめてきた全国消費生活相談員協会の黒田千鶴子さんをお招きして、お話を聴きます。暮らしの「根っこ」について、また、日頃の環境保全活動の持つ意味などについても、そのおおもとを考える機会となると思います。皆さんの参加をお待ちしています。

(めだかサポーターの会 会長 山田純)

2月24日(休) 14時30分～16時30分(受付14時から)

おだわら市民交流センターUMECO 会議室 1・2

講師 黒田 千鶴子さん(公社 全国消費生活相談員協会 理事)

プロフィール・PTA、地域ボランティア活動を経て、消費生活相談員資格、AFP、産業カウンセラー資格を持ち、現職。



黒田さんからのメッセージ

「地球全体を見ると気候変動や海洋汚染が問題となっています。自然災害の猛威に足がすくみ、生き物たちの惨状には目を覆いたくなります。国連は今後解決しなければならない17の開発目標を定めました。私たちの生活にも深くかかわるこの目標を実現するには、どのような意識を持つことが求められるのでしょうか。暮らしの足元を見直し、未来を創る日々の生活こそを大切にする意味を皆さまとともに考える時間にしたいと思います」

申込 定員72名(申込先着順)

メールで。 [info@medasapo.org](mailto:info@medasapo.org) めだかサポーターの会 事務局

電話で。 090-2742-5151 めだかサポーターの会 事務局 村田幸一



主催 めだかサポーターの会・小田原市環境保護課

この講演会は、市民提案型協働事業のひとつとして、めだかサポーターの会と、小田原市環境保護課との合同企画として開催されます。(写真は、桑原の桜土手の4月上旬です)